

第58回 「交通遺児を励ます大会」の開催にあたって

第58回「交通遺児を励ます大会」の開催にあたり、皆さんにメッセージをお送りします。

2025年11月1日、メジャーリーグのワールドシリーズ最終戦がカナダで行われ、ロサンゼルス・ドジャースが勝利し、シリーズ連覇を達成しました。その中で大活躍し、MVPに輝いた山本由伸投手は、誰もが認めるスーパースターとなりました。

そんな山本投手も最初から活躍できたわけではありませんでした。山本投手が野球を始めた小学1年生のころは、チームの中で目立つ存在ではなく、投手として本格的にプレーし始めたのは高校生になってからだそうです。甲子園の舞台には一度も立つことがありませんでした。2016年にプロ野球チームに入団した際も、ドラフト4位で指名されるなど、特別大きな期待をされる選手ではなかったそうです。実際に、プロ野球選手として初めて試合に出ることができたのは、1年後の2017年8月のことでした。

それでも、山本投手があきらめることはありませんでした。「どんな日も、自分のやるべきことを一生懸命に続ける」ということを大切にし、うまくいかない日があっても練習を続け、努力を積み重ねてきました。その結果、2025年11月1日、“世界一の投手”と称される活躍を果たすことができました。MVP受賞後のインタビューでは、受賞の喜びとともに、チームメイトやファンへの感謝の気持ちを語っています。

この山本投手のエピソードからは、どんな時もあきらめずに自分と向き合い、今できる精一杯の努力を続けることの大切さと、支えてくれる存在の大きさを伺い知ることができます。

不慮の事故により大切なご家族を亡くされた皆さんの悲しみは、計り知れません。しかし、山本投手が、チームメイトやファンに支えられているように、皆さんの周りにも、皆さんを支えている人が必ずいます。どうか、今できる精一杯の努力を積み重ね、一步一步着実にこれからの人生を歩んでいってください。皆さんの可能性に期待し、これからの成長とご活躍を心から応援しています。

令和7年12月21日

三重県教育委員会事務局
生徒指導課長 向井 英規